６０周年実行委員会　事業計画（案）ver.20

実 行 委 員 長 : 鈴木辰太郎
副実行委員長: 伊藤　善隆
総　括　幹　事 : 竹田ひろみ

【委員会主旨】

高度経済成長期の初期である１９５５年、志高き３１名の青年によって山形青年会議所は創立されました。目を覆うような痛ましいニュースが日々流れ、若者は未来に夢を持てない、もしくは夢を持つ事を諦める今、半世紀以上も途切れることなく紡がれた想いを受け取るだけではなく、青年世代であり公益法人格を有する私たちが相集い力を合わせ、これからのやまがたを引っ張ってゆく次の世代へ、夢を描けるバトンを渡す必要があります。

まずは、５０周年提言を先達の志と軌跡と捉え、これからの山形ＪＣが歩むべき指針とするために、メンバーがベクトルを揃えた６０周年提言の策定を行います。そして、私たちのＪＣ運動に対して理解をより一層深めていただくために、山形市民、行政、先輩諸兄、関係諸団体へ提言の周知活動を行います。また、ご来賓、メンバー企業、先輩諸兄、関係諸団体に６０周年を迎えられる感謝をお伝えし、山形ＪＣの気概を力強く発信するために、品格ある記念式典を開催します。さらに、未来へ向けた関係を更に構築し、夢を語り合い交流をより深め共に愉しめる機会を創造するために、笑顔溢れる記念祝賀会を開催致します。そして、次の世代であるＪＣＣメンバーと、これからのやまがたへ更なる夢と理想を持つために、元気ある記念事業を行います。また、山形市民と一緒に、やまがたへの誇りと愛する心を醸成するために、感動的な記念事業を行います。さらに、私たちのＪＣ運動が地域へより良い影響を与える事が出来ているのか、客観的に私たちの事業を検証する事で今後のＪＣ運動が向上するために、各種アワードへ受賞を目指した申請を行います。

私たちは、温故知新の精神で５９年の歩みを真摯に学び、やまがたへ元気と感動をもたらし、青年らしい情熱で創り上げた提言が、リーダーとしての確固たる信念としながら、未来を切り開く事で、明るい夢が描ける「夢の輝くまちＹＡＭＡＧＡＴＡ」を実現します。